



何気ない時間を心から楽しいと思えるような友人と出会えたことも私の中で成長した部分でした。

【学習面】

中国文学についての講義、切絵・漆扇体験、餃子づくり体験、八段錦（太極拳の一つ）体験がありました。実際に自分たちで作ってみたり、触れてみたりすることで、座学では学べない文化の違いを感じることができました。日本と中国の文化の違いはもちろん、中国の南北での文化の違いも学ぶことができました。

中国に到着した最初の頃は、中国語を聞き取ることも難しく、店員さんの言葉を聞き取れずあたふたしてしまいましたが、過ごしているうちに、だんだん聞き取れるようになって、不安感を抱かずに買い物ができる時には嬉しかったです。

【生活面】

中国での上下関係について驚かされました。実際に、学生同士の会話、学生と先生との会話を聞いた時に違和感を覚えたことがきっかけでした。中国では、名称や人称で尊敬を表現し、日本ほど敬語に重きをおいていないと教えてもらいました。こういったコミュ

ニケーションの方法や考え方が会話に影響しているという場面を目の当たりにしました。

また、中国はお手洗いが日本と違って、紙を流せないことが多かったため、お手洗いく際には、ポケットティッシュを持参する必要があります。

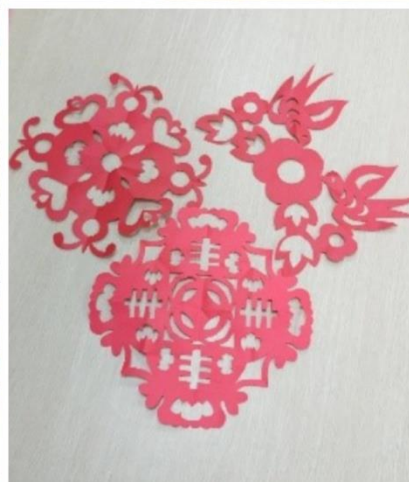
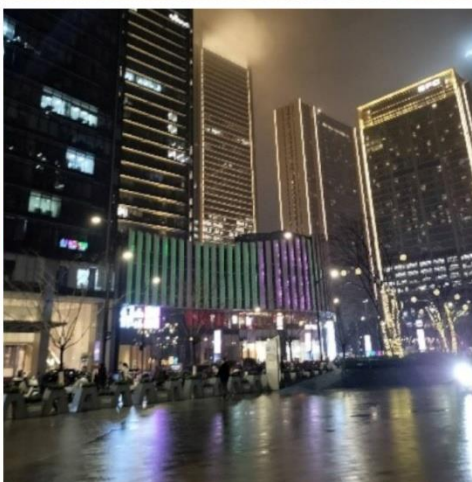
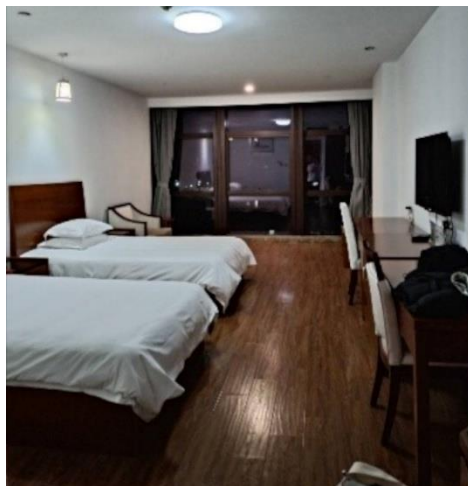
【学修成果】

私自身が一番成長したことは、周りを気にしなくなったということです。中国という人が多い環境で過ごすことで、他人を過度に気にせず、自分のことに集中できるようになったことが今回の一番の成長だったと思います。

また、2 週間という短い期間ではありましたが、たくさんの友人ができたことも成長したことだと思います。国は違えど、分かりあえることも多く、ゲームなどで笑い合えました。

【感想】

今回の異文化理解演習で学んだことは、もっと自分に自信を持つということだと思います。語学学習は終わりが無いと思わられることが多く、私自身も今まで中国語を勉強しながらも自信を持つことができないことも多々ありましたが、今回いろんな人と中国語で会話することで私がこれまでやってきた中国学習は一つ間違っていないかと思うことができました。私は日本語教育にも興味があるので、これからも中国語を磨いていって、いつか中国語で日本語を教えられるまでになると良いと思います。



今後も目の前にあるチャンスは 自分のものにするという気持ち で何事にも挑戦してみたい！

【学習面】

中国語の講義が4回あり、中国語の基礎の四声や簡単な単語と文法、中国地方での方言などを学びました。プログラム参加者の日本人学生5名以外に、中国人学生も数人一緒に講義に参加して、発音の違いを丁寧に説明してもらいました。

他にも杭州と日本の交流史の講義や杭州師範大学の歴史やそれに関わる人物について紹介してもらいました。日本の教科書でも見たことのある写真や聞いたことのある出来事・人物の名前を聞くことが多く日本との関わりについて新しく知ることができました。

【生活面】

日本人参加者1名につき、1名の中国人学生がついてくれて、キャンパスを案内してもらったり、一緒に食事をしたり、学外に出かけるなど、多くの時間を一緒に過ごしました。おかげで、初めての海外でしたが安心して過ごすことができました。連絡先を交換したので、帰国した今でも中国の暮らしなどに触れることができています。

2週間の現地での生活だけにとどまらず、帰国後も交流が続けられているのもこのプログラムの良いところだと感じています。

【安全面】

一番日本とギャップを感じたのはトイレです。中国ではトイレトペーパーが置いていない、水に流せないことが一番衝撃的でした。

2つ目は交通です。歩行者の信号が青になるとバイクなども一斉に進むので危ない場面にたくさん遭遇しました。

3つ目は衛生面です。様々な食べ物や動物が屋台の前に吊るされていて、衛生的にあまり良いとは思感なかったので、屋台で売られている食べ物や生ものは絶対に食べないように注意をしました。

【学修成果】

2週間のプログラムでは、語学が上達した実感はあまりありませんでしたが、買い物や食事に出かけることで、ネイティブの人が使う言葉をたくさん聞いたので、日本にいた時よりはリスニングやリーディングにたくさん触れることができる環境でした。ただ、中国人学生とはずっと日本語で会話をしていたので、スピーキングが身に着いたかというところでもありませんでした。

【感想】

今回の経験は日本に帰ってからの語学学習へのモチベーションになりました。これからもっと勉強して語学力を身につけ、内面的な成長にもつなげたいと思います。



この留学で強くなった勉強意欲 をバネに中国語の勉学に励んで いきたいです！

【学習面】

中国語、中国の文化・歴史を学びました。中国語の授業では一人一人に中国人チューターがついてくださったので、分からないことがあればすぐにチューターに聞くことができました。授業の後にチューター達と外食に行って、その時に習った流行語を使ってみて、通じたことが嬉しかったです。このように授業で学んだことをすぐに実践できるという環境が勉強するモチベーションにつながり、楽しく中国語を学ぶことができました。

中国文化では、餃子作り、切絵、漆扇、漢服、八段錦などを行いました。餃子作りは中国人学生と一緒に300個ほど作りました。切絵と漆扇作りは少し難しかったですが、オリジナルの作品を作ることができたので思い出になりました。八段錦は専用の服を着て、野原の中で行いました。少し恥ずかしかったですが、伝統的な健康法で呼吸が整い、体が軽くなったと感じました。

特に印象に残った観光地は烏鎮、魯迅の故郷、博物館です。それぞれに深い歴史があり、新しく学ぶことが多かったです。

【安全面】

バイクの台数が非常に多く、宅配のバイクが歩道に入ってくることが頻繁にあったため、外出する際には周りをよく注意することを意識していました。日本とは異なり車優先なので、道路を横断する時は事故に遭わないように慎重に渡りました。

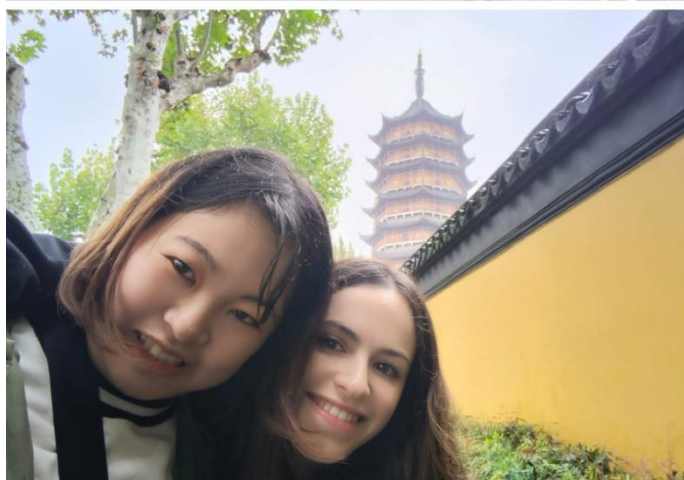
【学修成果】

この留学を通して、新しい経験ばかりで世界は本当に広いんだなと思い、もっと自分の視野を広げたい、知らない世界をもっと知りたいという気持ちが強くなりました。留学中でもとりあえず挑戦してみるという行動力を身につけられたと思います。

また、勉強する意欲も強くなりました。留学は今まで勉強してきた中国語を活かすことができる機会であり、言葉が聞き取れた時、自分の中国語が通じた時、その一瞬一瞬が嬉しく、もっと中国語が上手になりたい、もっと知識を身につけたい、という意欲が強くなりました。

【感想】

現地の人と関わり、実際に現地の文化を体験することで、知識を得ることができると同時に、記憶にも鮮明に残すことができました。この留学から実際に経験をしてから知識を得ることの大切さに気付きました。今後もこのような機会があれば、積極的に挑戦しようと思います。



私はこれから人生を歩いていく 上で自信ができました。

【学習面】

午前中に必修科目である中国語の授業、午後からは選択科目である英語開講科目の授業が行われました。中国語の授業は全て中国語のみで行われるので、留学前にある程度の中国語を身につけておいた方がいいと思いました。定期試験は、中間と期末の計2回あり、それに向けて各授業の中で小テストが毎週のように行われていましたが、予習復習を欠かさなければ難しくはないです。

英語開講科目は、Global Business Communication (中国ビジネスと海外ビジネスについて) と Appreciation of Traditional Chinese Art (中国の芸術: 琴、水墨画、書道、戯曲、日本と中国芸術の共通点や違い) を学びました。

これからも中国語と英語学習を続けていこうと思います。

【生活面】

日用品は Taobao (アプリ) で購入し、食事は外食をしたり Meituan (アプリ) でデリバリーを使用したりしていました。

移動は地下鉄やバスを利用し、高德地図(アプリ)が地下鉄の乗り換え情報が分かりやすかったので使っていました。タクシーを

手配する際は、Alipay に入っている DiDi (滴滴) (アプリ) を使っていました。

休日にはアルゼンチンのルームメイトや中国人の友達と蘇州や杭州、南京、湖州などに旅行に行きました。特に印象深かったのは、莫干山の山登りです。山道は舗装されておらず、登るのが大変で2時間程かかりましたが、頂上で日没の絶景を見ると達成感でいっぱい疲れが吹き飛びました。

【感想】

今回の留学で、コミュニケーション能力と語学力が身についたと実感しています。上海外国語大学にはアジア圏の人だけではなく、ヨーロッパやアメリカ、さらには南米といった様々な国から留学に来ているため、様々な言語や文化に出会うことができました。日本ではできない経験や、異言語・異文化を有する友人を作ることができ、自分の視野が広がり考え方が変わりました。